

弟子屈町における地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業2年目）

弟子屈町地域公共交通総合連携計画の目標

- ・【環境】環境にやさしい交通体系の確立
- ・【生活】生活交通の充実による利便性の向上
- ・【観光】滞在型観光を支える2次交通の充実・強化

22年度総合事業計画の概要

- (1) 摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行
- (2) 鉄道・バス共有「弟子屈2 daysエコパスポート」の発行
- (3) 駅ボランティアインフォメーションセンターの設置・運営
- (4) サイクル&ライトの実施
- (5) 公共交通利用促進・啓発活動
- (6) 観光交通シンポジウムの開催

弟子屈町地域公共交通活性化協議会開催状況

- 第1回協議会 5月31日開催
 - ・平成22年度事業完了報告及び収支決算報告について
 - ・平成22年度会計監査報告について
 - ・平成22年度収支予算及び事業計画の概要について
- 第2回協議会 12月22日開催
 - ・平成22年度摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行事業結果報告について（夏季）
 - ・冬季摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行事業の概要について
- 第3回協議会 3月開催予定



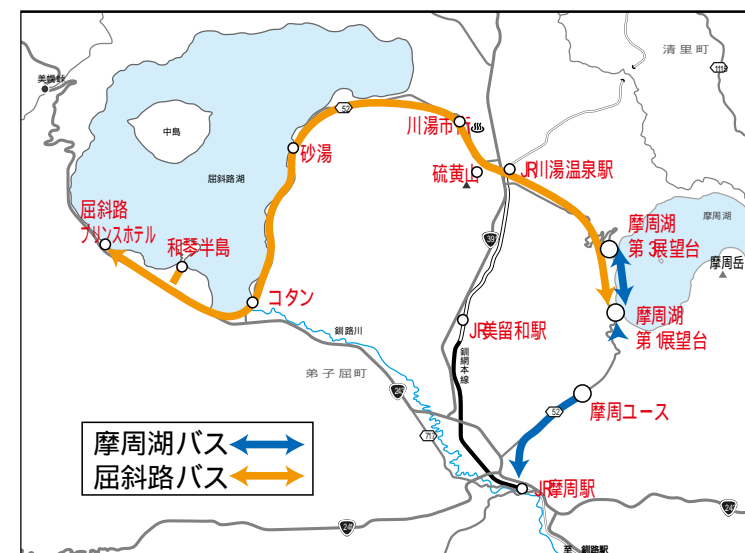
(1) 摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行

| | |
|-------|--|
| 運行期間 | 平成22年7月17日～10月11日(87日間) |
| 運行ルート | 摩周湖バス:JR摩周駅～摩周湖第一展望台 屈斜路バス:屈斜路PH～JR川湯温泉駅～摩周湖第一展望台 |
| 運行本数 | 摩周湖バス・屈斜路バス:各々4本 |
| 運賃 | 大人1,000円 子ども500円(2日間乗り放題) |
| 運行事業者 | JR北海道・阿寒バス株式会社・摩周ハイヤー |

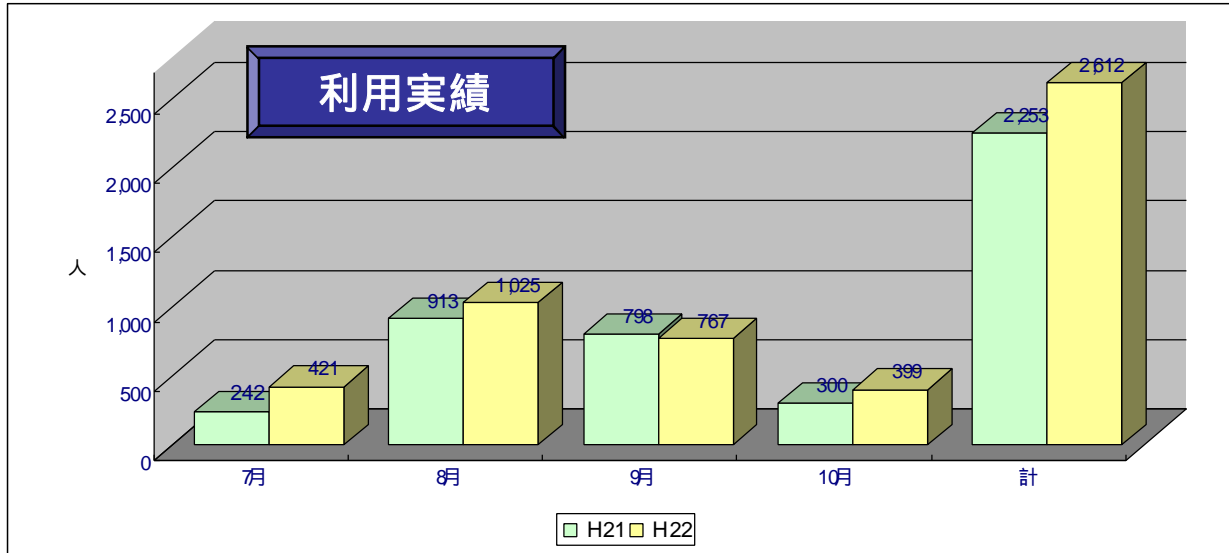


プロセス・創意工夫

弟子屈町は、摩周湖、屈斜路湖等の景勝地を有し毎年多くの観光客が訪れるが、通過型観光が主流であるとともに、その多くがマイカーを利用するため、排気ガスによる自然環境への負荷が懸念されていた。そのため、平成19年度、20年度に道道屈斜路摩周湖畔線の交通規制及び代替バス運行実証実験を実施してきたが、一方で、摩周湖へは公共交通機関では満足なアクセスがなく、車でなければアクセスできないことが問題となっていたため、平成21年度より視点をアクセス規制から車以外の公共交通機関による環境負荷の小さいアクセス充実に切り替え、JRとバス等のスムーズな接続など公共交通機関で摩周湖等の観光スポットへアクセスできる環境を整備し、「車の運転ができず来訪をあきらめていた」といった階層の掘り起こしやバスや鉄道によるゆったりとした旅の提案など新たなマーケットの創出を図ることとした。また高齢者等の貴重な交通手段である路線バスも近年利用者数は減少傾向であることから、生活路線の維持に向けたバス路線の再編・ダイヤの見直しによる利便性の向上・観光交通としての活用を行い、魅力ある公共交通の創出と利用促進を図ることにより、環境にやさしく、生活交通と観光交通が一体となった地域交通体系の構築を図る。



「弟子屈2daysエコパスポート」実績



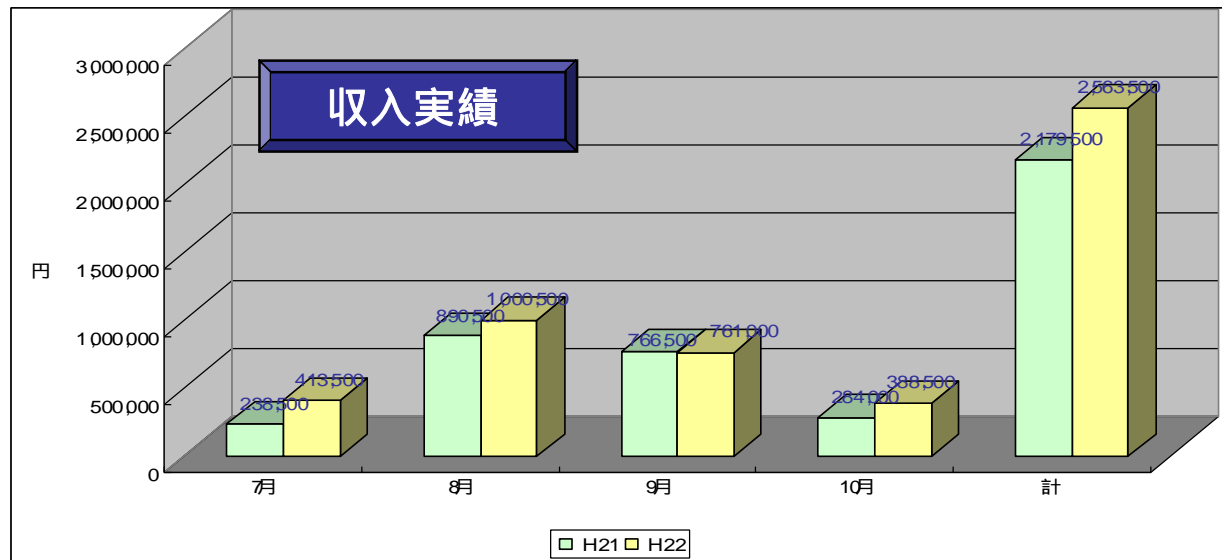
平成22年度利用者数

| おとな | 子ども | 合計 |
|--------|-----|--------|
| 2,515人 | 97人 | 2,612人 |

昨年度対比 16%増

平成22年度運行収入

| おとな | 子ども | 合計 |
|------------|---------|------------|
| 2,515,000円 | 48,500円 | 2,563,500円 |



(3) 駅ボランティアインフォメーションセンターの設置 運営



JR川湯温泉駅ボランティアインフォメーションセンター



JR摩周駅ボランティアインフォメーションセンター



ボランティアガイドの活動風景 / JR摩周駅前バス発着所

(4) サイクル&ライドの実施



レンタサイクルの貸出し風景 / JR摩周駅



サイクルマップ

(5) 公共交通利用促進 啓発活動



町内ノーマイカーデー / ビアガーデン



ペロタクシーによる啓発活動 / 札幌市内

(6) 観光交通セミナーの開催

平成23年3月開催予定

基調講演 釧路公立大学 学長 小磯修二氏

平成22年度の実証運行のデータを基に町民・関係者への
セミナーを開催



昨年度の開催風景

自己評価のポイント

- ・摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通実証運行」を始めとする6つの事業を試行し、エコパスポート事業については、前年度比16%増の売上げとなった。
- ・各課題の検証、事業の見直しの要否、持続可能な財源・料金設定等、本格実施可能な環境の整備に向けて必要な検討を行っている。

事業実施成果

アンケート調査結果から

利用者の総合評価として「満足・やや満足」の合計が97%と非常に高い評価を得た

今後の課題

収支率の向上と本格実施に向けた仕組みづくり
事業費の確保

二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり必要な検討を行っていると認められる。
- ・本格実施に向け、財源確保や収支率の改善等の課題も明確になっていることから、より具体的な取組みの策定を期待する。